

# 令和2年度白石市まちづくり交付金事業実績

令和2年度に一次募集で採択された白石市まちづくり交付金事業17件の事業実績について報告します。

## □沢端川周辺環境美化整備事業（沢端川の環境を守り鯉を育てる会）

沢端川周辺は多くの観光客が訪れる白石城や武家屋敷をつなぐ散策路となっており、沢端川周辺の木々の剪定や樹勢回復など、環境美化および観光振興に寄与するため、環境整備を行いました。



▲剪定された神石しろいし前の松

## □鷹巣第5公園緑化植栽事業（鷹巣自治会）

地域住民で構成する「鷹巣花と緑の会(会員数24名)」と、鷹巣自治会が地区民に呼び掛けし、鷹巣第5公園の緑化事業に取り組みました。きれいになった花壇は地域住民やホワイトキューブ来訪者の癒しの空間になっており、花を通して地域内外のコミュニケーションを形成しています。



▲多くの方が参加して植栽しました

## □国道113号鹿野地区花壇再生事業（上郡山自治会館運営委員会）

上郡山第一・第二自治会の住民相互の親睦をさらに深めるために、「声有り・花有り・笑顔有り」を指標に美化活動を進めており、国道113号沿いの「ふれあい花壇」に花を植栽し、安心して子ども達と大人が集う地域社会を形成しました。



▲子どもたちも参加し、最後まで真剣に植栽しました

### □白石川堤防環境美化整備事業（白石川堤防の桜を守る会）

古くから花見の名所として市民に親しまれている白石川堤防周辺の桜並木の環境整備のため、白石川周辺の桜の剪定、雑木の刈払い等を行いました。会員が作業途中に、住民から声をかけていただくこともあり、活動の普及と地域間の交流につながっています。



▲桜の木の手入れや雑草の刈払いの様子

### □本郷第一令和会「令和の花壇」整備事業（本郷第一令和会）

市道(白石・田中線)と中央公民館の間に昨年度作成した「令和の花壇」の植栽及び周辺の美化活動に取り組みました。季節に合わせた多種多様な花を植栽することによって、地域住民や行人のふれあいや憩いの場の創造につながりました。



▲幸せの黄色い花を植栽しています

### □環境美化・健康増進ウォーキング運動事業（越河カンナ花友の会）

地区内に会員が協力してカンナ花を植栽し、健康づくりを目的とした植栽場所を巡るウォーキングを実施しました。ウォーキング事業前も散歩中の地元の方々が足を止め、カンナ花を鑑賞している姿が見受けられました。



▲ウォーキング時の様子

## □越河歴史探訪会；ことしも”越河”をたずねてみませんか！（越河歴史探訪会）

地元に対する理解をより強くするため、越河にゆかりのある史実などを地区民で探訪する事業を行いました。今年度は「伊達氏ゆかりの地巡りの旅(その二)」と題して、市外や県外に赴き、地元の史実に対する更なる理解と住民の交流が図られました。



▲萬歳楽荘にて、伊達平野を眺める様子

## □齋川夏まつり盆おどり大会（齋川夏まつり実行委員会）

今年度は新型コロナウイルスの影響により、毎年開催していた盆踊り大会を行わずに、三密を避けつつ、各家庭の庭から観覧できる打上花火大会を実施した。地区民に協賛を呼び掛けたところ、多くの方に賛同を得て、楽しんでもらうことができました。



▲地区民の協賛金で打ちあがった花火

## □きらり齋川笑アップ塾（齋川まちづくり協議会）

一昨年度実施した全住民アンケートの結果をうけ、地域の課題をより具体的に解決するために、専門家をお招きした学習会を行いました。その後、地区内の施設を利用して、課題に対する実証実験をしました。そして、実験結果を地区民に共有し、更なる学習会を行いました。



▲地区民で地域課題を話し合っている様子

### □コロナ退散祈願 白川花火（白川振興会議）

今年度は新型コロナウイルスの影響により、毎年開催していた仮装盆踊り大会を行わずに、三密を避けつつ、各家庭の庭から観覧できる打上花火大会を実施しました。コロナ禍でも工夫を凝らして事業を実施したことによって、まちづくり協議会に対する地区民の意識の大きく変わりました。



▲コロナ退散を祈願して打ち上げた花火

### □花と緑の地域づくり事業『花で癒そう上原を！』（上原自治会）

地区住民の交流を深め、地区内を花で癒す花と緑の地域づくりを推進するため、県道254号線沿いの花壇や地区内の交差点、ごみ集積所等に春と秋の年2回植栽しました。また、自治会内の全家庭のプランターにも花を植栽し、維持管理しています。



▲慣れた手つきで植栽する参加者

### □地域内を花と緑で笑顔溢れる地域づくり（山根自治会）

地区内の環境整備と地区民同士の交流を深め笑顔溢れる地域にするため、花壇を整備し花を植栽しました。事業に対して地域から寄せられる声は年々増えており、徐々にではあるものの、地域に根差しているように感じます。



▲参加者が協力しあいながら花壇整備を行いました

### □小さい集落「せんのう沢」は、みんなで「笑顔」（芹沢自治会）

数年前から、自治会内での地区民の交流を図るための事業を続けてきました。令和2年度は、自治会内の住民の協力を得て、だれでも自由にならることができる「幸せの鐘」や回転するフラワーポットを作成しました。地区内外で高い評価を受けており、今後も広い範囲での交流活動へつなげていきたいです。



▲完成した鐘やフラワーポットと写真撮影

### □「あじさい」の植栽及び管理と苗づくり交流事業（川原子あじさいを愛する会）

会員が協力して、駐車場周辺の刈払いや草花の植栽を行いました。また、あじさいの苗づくり講習会では、外部からの参加者もあり、講習会終了後、交流会を開催したことによって会員のみならず幅広い人々の交流が図られました。



▲タイヤを使ったプランターへの植栽の様子

### □深谷地区の神社の名前・神社の由来看板設置と記念植樹（白石市深谷公民館運営委員会）

深谷地区の地域活性化を目指して、地元の神社等の由来看板と記念植樹を通して、地域の魅力を次世代に伝える事業を実施しました。地域の隠れていた魅力を周知することにより、地区民から新たな関心を持ってもらえるようになりました。



▲地区民が協力しながら看板を設置する様子

### □柿渋を使った地域づくり（柿渋作りを楽しむ会）

柿渋作りを通して、他地域及び世代間交流をすることにより、小原地区の活性化に繋がりました。会員で話し合っ事業を決めており、今年度は予定よりも多くの事業を行いました。また、試行錯誤を重ねてきた柿渋液も販売できる品質となり、会員のやる気増加につながっています。



▲柿渋作りを楽しむ参加者

### □小原未来塾（小原地区振興会）

全住民アンケートの結果をうけ、地域の課題を解決するために、専門家をお招きした学習会を行いました。今後の行事のあり方などを本事業を通して地域住民で話し合いを重ねた後、専門部会に提案し、来年度から実施する流れとなりました。



▲公民館で講師の話聞きながら勉強する様子

令和2年度に二次募集で採択された白石市まちづくり交付金事業1件の事業実績について報告します。

### □大鷹沢ふるさと整備事業（大鷹沢まちづくり振興協議会）

文化財でもある三沢城を地区内外の方へ広く周知し、安全に探訪できる地域の拠点とするため、整備及び看板の設置を行いました。地元の小学生からイラストを募集したオリジナルの看板を作成し、設置したことによって、大人だけではなく、多くの子供たちに関心を持ってもらえるようになりました。



▲三沢城跡に地区民で看板を立てている様子